

栗原市地域おこし協力隊活動報告会 資料

花山地区「小さな拠点」づくりプロジェクト 活動報告

令和6年3月9日（土）

栗原市地域おこし協力隊

花山地区「小さな拠点」づくり推進業務担当

小野寺裕昭、海山裕太

自己紹介

小野寺裕昭

栗原市との関わり

★実家が市内（旧鶯沢町）

～1979年、細倉鉦山の社宅で暮らす

1989年、鶯沢工業高校卒業後就職

2023年～協力隊としてUターン移住し活動開始



☞ 鉦山の社宅。今は残っていません。。

☞ 鶯沢工業高校（廃校）



海山裕太

栗原市との関わり

①父親の実家、祖父母の家が栗原市若柳

②市内プロジェクト

－2017年:ゆるくて面白い? 移住

－2018年:ゆるい栗原大学

－2020年:長屋門研究、プロジェクト



まちの電気屋さん



長屋門ステイプロジェクト

発表構成

花山地区地域おこし協力隊の概要 P.4-p.6 **1**

今年度の主な取り組み P.7-p.12 **2**

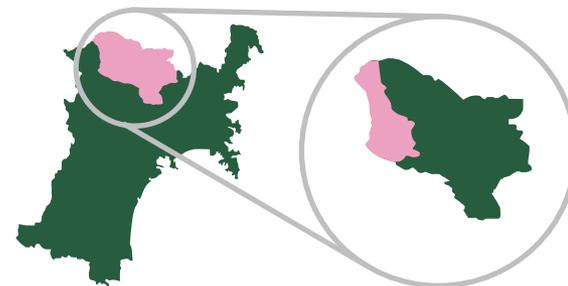
来年度の予定 P.13-p.16 **3**

1

花山地区地域おこし協力隊の概要

1.体制

2.活動概要

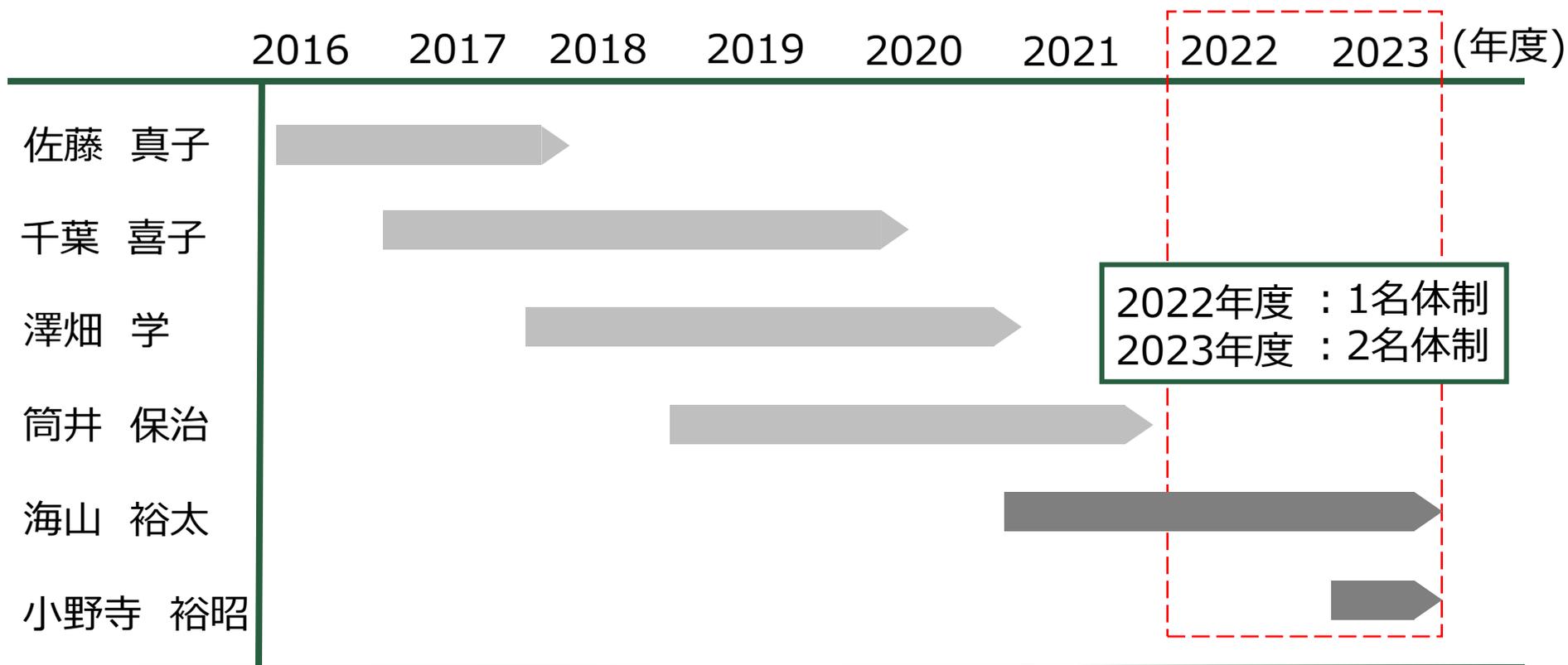


宮城県

栗原市・花山

1.体制

(一)はなやまネットワークの**プロジェクト推進担当**として地域おこし協力隊が活動



協力隊の**募集**をしています！

2.活動概要

花山地区内の**課題**や**特徴**に着目し、それに関する事を**プロジェクト化**

課題や特徴	プロジェクト
人口減少	移住体験ツアー (かがやく女性たちと過ごす花山いなか時間、地域の余白をシェアしよう)
空き家問題	空き家利活用プロジェクト、民宿あずきばた
交通問題	デマンド交通、買い物支援プロジェクト
集いの場の不足 雇用の場の不足	湖畔のみせ旬彩の運営
放射能問題	農産物の放射能測定
PR	はなやま暮らしの発行、講演会、白糸の滝、削沢の滝の観光案内整備

2

今年度の取り組み

- 1.【既存】昨年度以前から続く取り組み
- 2.【新規】民宿あずきばたオープン
- 3.力を注いだ取り組み

1.【既存】昨年度以前から続く取り組み



移住体験ツアー
(かが女2023、関わりしる発掘)



空き家片付け隊



月1・情報誌作成



湖畔のみせ旬彩



放射能測定



行事のお手伝い



公園の整備

その他…デマンド交通の運営補助、トレッキングツアー、買い物支援等

2.【新規】民宿あずきばたオープン



民宿
あずきばた
since 2022



-木造2階建て
-5LDK
-宿泊人数9名



-DIYイベントで作成した
五右衛門風呂と囲炉裏



-リビングとキッチン

花山・小豆畑地区

-道の駅まで約5分
-ワカサギ釣り会場まで約5分



3.【小野寺】力を注いだ取り組み

「湖畔のみせ 旬彩」の運営

-コミュニティカフェ：

- ☞ オレンジカフェをはじめ、催しイベントとランチを組み合わせた仕組みづくりで関係人口と売上が向上！。

-物販：

- ☞ 一気通貫（仕入、買出～販売～在庫補充～支払い）による対応。



冊子(地域おこし協力隊広報誌)の創刊

-はなやま暮らし：

- ☞ 花山地区をターゲットにしたピンポイント情報を提供。はなやまニュースとトピックス取材・収集し毎月発行

-イベント：

- ☞ 地区の行事を広報する案内冊子を作成しております。



3.【海山】力を注いだ取り組み

アウトドアコンテンツの開拓

地域の特徴である自然の恵みを地域の人々と協働して開発していくプロジェクト
様々な体験コンテンツを行ったうえでツアーの作成



3.【海山】力を注いだ取り組み

【対外評価】内閣総理大臣賞、輝く日本一くりはら大賞を受賞！

公益社団法人あしたの日本をつくる協会、NHK、読売新聞社

「あしたのまち・くらしづくり活動賞」
内閣総理大臣賞を受賞！

栗原市

「輝く日本一くりはら大賞」を受賞！

《参考》令和4年度

《対外評価》農林水産省「ディスカバー農山漁村の宝」アワード

《対内評価》花山地区内の15歳以上の全住民アンケート

回答率：77.4%



3

来年度の予定

1. 体験コンテンツの集約化
2. 継承と共有

1. 体験コンテンツをまとめる

花山地区全体 体験コンテンツの集約化

体験コンテンツを組み合わせ集約化

様々な団体が行う自然や食事、温泉を生かした体験コンテンツや我々が数年かけて新規開拓した取り組みなどを共有したうえで集約化

地区全体としての集客

コロナ禍を経て地区全体として集客に苦労している。特に台湾からのインバウンドに注力していく。

2.花山の歴史・技術・文化の継承と共有



生活に根差して継承され続けてきた
 栗原の**文化**や**歴史**、**技術**。
 その全てが文化財に指定されるようなものではない。
 だけど、感情が動くものって多くありませんか？
 それを一つ一つ**学び**、**共有**していきたい。



夏の花山湖畔で
 ゆったり編みこむ
 六つ目編みのカゴ。

8/26 SAT
六つ目編みのカゴづくり
ワークショップ
 旬彩カレーランチ付

六つ目編みについて
 6本のひごを斜めに編んで六角形を作り、その部分を中心に編んでいく技法です。斜め編みは堅実な作りとなるため古くから籠やざるを作る際の重要な編み方として、用いられてきました。

講師 佐々木次男さん
 宮城県栗原市花山公民館 元・副理事長
 栗原市花山公民館 元・副理事長として、栗原市花山公民館の維持管理の仕事をしました。定年退職後、カゴ編みと出会って数多くの作品を作られています。

日時 2023年8月26日(土) 11:00-14:00
 会場 湖跡のみせ知覧(宮城県栗原市花山本町合道 46-5)
 料金 2,500円(税込)
 申込方法 Google フォームより申し込みください。
 申込人数 10名(先着順となります)



山菜ソムリエと山菜採り士の資格
 を今年度取りました！

カゴ編みワークショップを開催！

応募案内

1名



花山地区 地域おこし協力隊

宮城県栗原市地域おこし協力隊 募集中！ (花山地区小さな拠点づくり及び移住定住推進担当)

東北の小さな湖畔の村から取り組む、持続可能な地域づくりへの挑戦

宮城県北西部に位置する栗原市の西端、栗駒山（奥羽山脈）の麓に位置する花山地区。森林が大半を占め、美しい自然が広がるのどかな中山間地域です。

そんな花山地区も、昭和30年代のダム建設や、3年の間に相次いで二度も地域を襲った大地震（平成20年岩手・宮城内陸地震、平成23年東日本大震災）などの影響で、人口減少が加速しています。

豊かな自然と共存する中で、この地で育まれてきた文化や風土を次代の子どもたちにつないでいきたい。そんな地域の「思い」を形にすべく、平成26年に地域住民が主導する形で「小さな拠点づくり」の取り組みがスタートしました。平成28年からは地域おこし協力隊が着任し、これまでに5名の隊員が地域の方々と共に、様々な取り組みを続けてきています。

そんな花山地区で地域おこし協力隊として活動してみませんか？
志ある方の応募をお待ちしております！

主な活動



地域課題解決のための
各種プロジェクト運営



移住定住促進のための
プログラム企画・運営



コミュニティカフェの
運営・プロデュース

お問い合わせ先

宮城県栗原市 定住戦略室

TEL 0228-22-1125

✉ teijyusokushin@kuriharacity.jp